

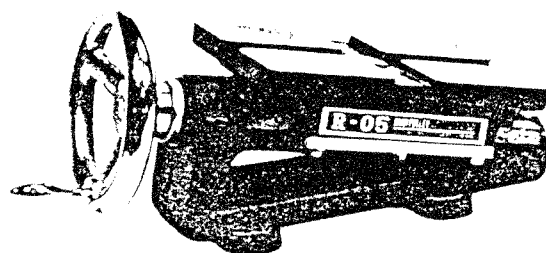


MIKI PULLEY

ベルト式無段変速機

モータ移動台

取扱説明書



お願い：この取扱説明書は必ず最終
需要家までお渡してください。



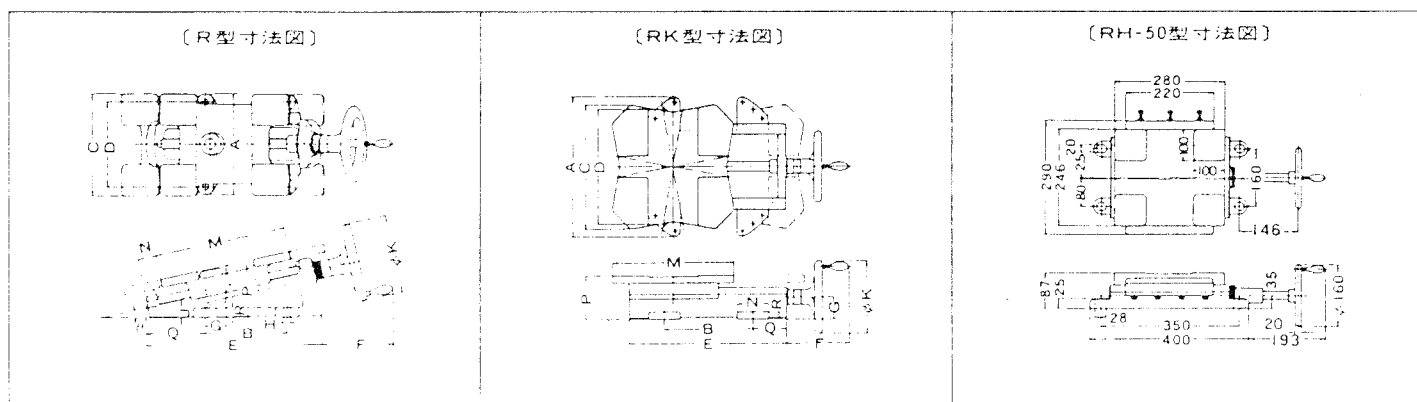
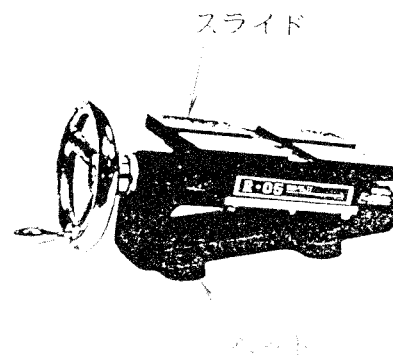
はじめに

毎度お引立ていただき厚くお礼申し上げます。

当社ベルト式無段変速機用モータ移動台をご使用にあたり、その取扱い方をご説明いたします。

■ 仕様表

型 式	取付けられる モータ(4極)	移動出来る 距離	該当するブーリ					重量 kgf
			P型	PW型	PL型	PK型	PF型	
R-05	200W, 400W 750W	70	P-85, P-124 P-98 P-106	PW-85 PW-112	PL-95, PL-170 PL-116 PL-140		PF-155 PF-185	3.5
R-20	1.5 kW	110	P-164	PW-138	PL-210		PF-185	10.5
R-30	2.2 kW	140	P-218	PW-172			PF-216	15
RK-05	200W 400W	90	P-85, P-98 P-106	PW-85	PL-95 PL-116 PL-140	PK-150	PF-155	5.5
RK-20	0.75kW 1.5 kW	140	P-124, P-164	PW-112 PW-138	PL-170 PL-210	PK-200	PF-185 PF-216	11.0
RK-50	2.2 kW 3.7 kW	160	P-218	PW-172 PW-202		PK-250	PF-216 PF-250	18.5
RK-100	5.5kW, 7.5kW	200				PK-300		40.0
RK-200	11kW 18.5kW	200				PK-300		42.0
RH-50	3.7kW, 5.5kW	170		PW-202			PF-250	25.0



■ R型寸法表

型 式	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	M	N	P	Q	R	θ
R-05	145	120	130	115	245	190	15	10.5	21	125	180	27	86	92	16	12°
R-20	180	140	180	150	305	120	35	10.5	19	140	230	30	90	102	17	12°
R-30	200	160	190	160	365	200	42	13	24	160	270	42	114	123	17	12°

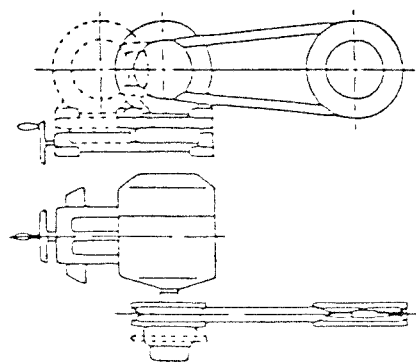
■ RK型寸法表

型 式	A	B	C	D	E	F	G	K	M	N	P	Q	R
RK-05	200	140	130	160	222	110	20	125	153	40	50	42	10
RK-20	200	140	175	150	280	122	45	125	190	48	90	70	17
RK-50	250	200	210	200	320	128	50	140	250	60	100	60	17
RK-100	390	250	252	320	450	150	60	200	283	90	120	100	20
RK-200	390	250	350	320	450	150	60	200	350	90	120	100	20

■ 取付け

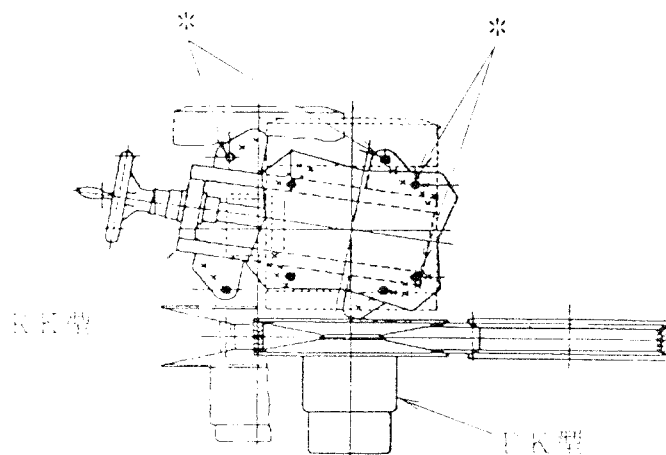
- モータ移動台（R, RK, RH型）は、バリダイヤモンド（P, PW, PL, PK, PF型）の取付けられたモータを移動して変速させるためのベースです。〔図1〕
- 取付けは床面に取付け、取付台はしっかりしたものを選んで振動しないようにしてください。床上に取付けるときは基礎面を床面より、幾分高くしてなるべく吸湿しないようにしてください。取付けが不適當ですと使用中の振動発生の原因にもなりますので、十分強度のあるボルトで確実に取付けてください。また、水平取付けを基準とします。
- 湿気やほこりの多い所、周囲温度の高い所、水や油のかかる所、腐食性や引火性ガスの雰囲気のを避け、風通しの良い所を選んでください。また、点検の容易な場所に取付けるようにしてください。変速機を含めた使用周囲温度は $-10^{\circ}\text{C}\sim 40^{\circ}\text{C}$ です。
- モータを移動台に取付ける時は、モータの取付け位置を決め、スライドにタップ（ねじ切り）穴をあけてください。そして、モータをボルトで固定してから変速機を取付けてください。

〔図 1〕



RK型

- RK型は、使用変速機により取付足の取付穴位置を変えるため、取付穴はあいていません。取付足の裏側に、取付穴用のもみつけがされています。使用条件に合わせ穴をあけてください。
- スライドの上には数種類のモータを取付けられるように、もみつけがされています。また、平行移動と傾斜をつけた移動（PK型）ができるように、それぞれ3通りの取付け位置がもみつけられています。
- PK型は、片開き型の変速機のため平行移動をさせるとベルトの走行線がずれます。PK型に使用する幅広変速ベルトは、ベルト走行線を常に一定に保つ必要があります。そこで、あらかじめ移動台（RK型）に傾斜をつけて取付ければ、ベルト走行線のずれを補正することができます。RK型取付足の取付穴と、スライドのタップ穴は、取付位置（ハンドル位置）により3通りのもみつけの左右どちらかを使って取付けてください。
- 使用変速機がP, PW, PL, PF型の場合は、取付足の3通りのもみつけの中央を使って取付けてください。傾斜をつけて移動させる必要はありません。



* これはPK型使用時の取付用の穴位置を示しています。

■ 操作・運転

- 変速機停止中は、変速操作をしないでください。
- ベルト取付けの時には、ハンドルを回してモータを従動側に近づけてから行なってください。
- 低・高速時にベルトが張り過ぎたり、プーリより飛び出したりしないように、使用する変速機に合わせてモータ移動台にストッパーをセットするようにしてください。
- ハンドルを右に回すとモータはハンドルに近づきます。

■ 保守・点検

移動台をより長持ちさせるため以下のことにご配慮ください。(6ヶ月に1回程度)

- スライド摺動部と送りねじにグリースアップを行ない、移動台摺動部の油膜切れを防ぐため、高速から低速へ数回変速させてください。
- スライド摺動部と送りねじは常にきれいにしておいて錆がないか、確認してください。
- スライドとベットの左右の隙間を確認し、隙間が大きければスライド部横(カミソリ)のボルトで調整してください。

以上一般的なことについて記しましたが、その他お気づきの点がございましたら最寄りの弊社営業所・出張所までお問合せください。

<参考>

スライドのタップ穴		ベットの取付穴
モータ kW(4極)	タップ穴	
0.2	M6×1	φ7
0.4	M6×1	φ7
0.75	M8×1.25	φ10
1.5	M8×1.25	φ10
2.2	M10×1.5	φ12
3.7	M10×1.5	φ12
5.5	M10×1.5	φ12
7.5	M10×1.5	φ12
11	M12×1.75	φ15
15	M12×1.75	φ15
18.5	M12×1.75	φ15